

しおやオリエンテーリング 4days トレイル O 要項

2020 年 7 月 26 日(土)

第 1 版 7 月 9 日 発行

■大会概要

主催 しおや 4days 実行委員会
坂野山遊地図企画・ヤマカワオーエンタープライズ
会場 塩谷町総合公園 (塩谷町飯岡 1160)

■スケジュール

25 日 13:00~17:00 スプリント・トレイル (塩谷町総合公園)

■大会役員

実行委員長 坂野 翔哉 (坂野山遊地図企画)
トレイル O コース設定者 大西 正倫

■競技情報

- ・トレイル・オリエンテーリング、PreO 形式(普通のやつ)
- ・解答方法はスマートフォンのブラウザでの GoogleForm です。
- ・スマートフォンの代わりに紙とペンを使うこともできます。
- ・使用地図「塩谷町総合公園」、2018 年作成。縮尺 1:4000, 等高線間隔 2m, 透視可能度 3 段階。
- ・コントロール位置説明は JSCD2008 準拠、IOF 記号表示。
- ・クラスは 1 種類のみ。競技時間 60 分、距離 600m、登距離 20m、コントロール数 14、タイムコントロールなし。「正解なし」があります。
- ・フィニッシュで GoogleForm の解答をやめて入力内容を送信してください。競技終了後に受付にて正解表をお渡ししますが、未出走者には見せないよう配慮と注意をお願いします。
- ・スプリント競技が同じ範囲で行われています。道を塞がない、譲り合うなど、ご注意ください。
- ・競技中は私語を慎んでください。未経験者はスタート前に初心者説明を受けてください。

■表彰・申し込み・参加費

- ・表彰を行いたいと考えていますが、やるとしても 18 時以降に塩谷町休養村にて行うため、この日のみの参加の場合は表彰を受けることができません。ご了承ください。
- ・申し込みは Japan-O-entry を利用しますが、**1000 円の当日支払**となります。事前申込みのキャンセルは申込締切までサイトから可能です。
- ・当日申込での参加も可能ですが地図の数に限りがありますので、できるだけ事前申し込みをご利用ください。

■宿泊・その他

- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況や社会状況などを鑑みて記載の内容は変更となる場合があります。
- ・当日は体調の優れない方、37.5℃以上の体温がある方の参加をお断りします。参加を予定される方は感染症に注意した生活を実践するようお願いいたします。
- ・トレイル O に関して、この要項以上の情報のあるプログラム等は発行しません。

■大会特設ウェブサイト、お問い合わせ先

ホームページ <https://shoyabanno.com/events/2020shioya>
主要競技申込 <https://japan-o-entry.com/event/view/486>
追加競技申込 <https://japan-o-entry.com/event/view/503>
メールアドレス shoyabanno@gmail.com

■トレイル O のルール

○持ち物

スタートでお渡しする地図・**ご自分のスマートフォン**またはコントロールカード・コンパス(サムコンは非推奨)・時計です。服装は普段着にスニーカーでも大丈夫です。

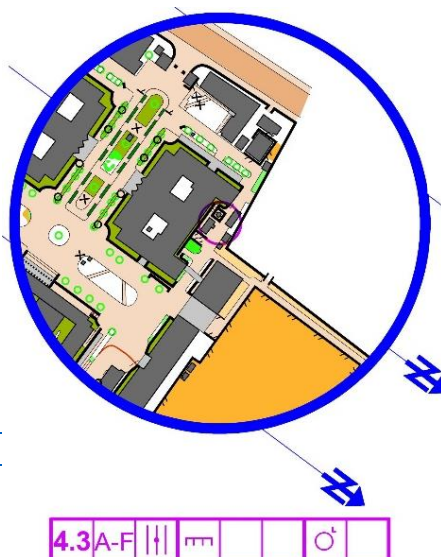
○競技方法

普通のオリエンテーリングのように、△→1→2→…→◎の順に向かっていきます。このとき、**通っていいのは舗装路などの「車椅子でも通れるところ」のみ**です。不整地やオープン、階段、狭い小径、その他地図上で立入禁止である場所は通ってはいけません。

コントロールに向かうと、円の中心のあたりには 1~5 個のフラッグがあります。どのフラッグが円の中心でしかも位置説明表の説明と一致するか、移動して色々な方向から見たり他の特徴物との位置関係を調べたりコンパスを振ったりして考えましょう。どのフラッグも正解ではないこと(Z)もあります。

また、コントロールのそばには DP(ディジョンポイント)があります。DP は地図には書いていませんが、普通にコントロールへ向かえば近くの地面に表示が見つかるはずです。フラッグは DP から見て左から「A:アルファ/B:ブラボー/C:チャーリー/D:デルタ/E:エコー/F:フォックスロット」とします。正解なしは Z です。解答は GoogleForm から行ってください。間違えても修正は出来ないので注意してください。

これを繰り返してゴールにたどり着けば終了です。制限時間をいくら使ってもいいですが、破ると厳しいペナルティがつくので気を付けましょう。



↑ 例。正解は…E(エコー)

「東京大学本郷キャンパス」
東大 OLK

トレイル O の詳細なルールや技術

■コントロール位置説明の見方

Day 2		2.6 km			130 min		
▷							
1	A-D		∩				
2	A-E	↗	∩			←	
3	A-E		○			○	
4	A-C		○	○		≡	
		A	B	C	D	E	F G H

トレイル O の位置説明はフット O と異なる点があります。

- ・ B 欄には、コントロールに設置されているフラッグの個数が示されます。例えば、A-D とあれば DP からフラッグが 4 個見えるはずです。
- ・ H 欄の矢印は、DP から見たフラッグの方角を表します。例えば、2 番コントロールの場合、フラッグは DP の西側にある、逆に言うと DP はフラッグの東側にあるということになります。
- ・ フット O ではあまり見かけない記号が使われることがあります（参考資料「コントロールに関する規則」）。例えば、4 番コントロールの G 欄の記号は、「(D 欄) と (E 欄) の間」という記号で、4 番コントロールは「ピークとピークの間」という意味になります。

■高得点を取るために意識すべきこと

- ・ コントロール円の中心を正確に読み取る。
- ・ コントロール位置説明を必ず確認する。
- ・ 地図に描かれた特徴物を現地の特徴物と丁寧に対応させる。
- ・ DP からだけでなく、いろんな所からフラッグ群を見るようにする。
- ・ わずかな違いで「正解なし」と解答しない。
- ・ パンチは慎重に。ミスパンチに注意！

まずは初めの 2 つを実行し、地図上での正解フラッグの位置を正しく把握するようにしましょう。DP からフラッグ周辺が見にくい場合は左右に動き、見やすい場所を探しましょう。ただし、DP から離れると、フラッグの順番が入り替わることがあるので、正解フラッグが分かったら DP に戻り、そのフラッグが A、B、C、…のうちどれに該当するのか確認しましょう。

フラッグ位置が少しずれている気がするだけで「正解なし」と解答するのはやめましょう。フラッグ位置が大きく違う・位置説明に合うフラッグが無い等、明確な理由がある時にしか「正解なし」にはなりません。

■知っている便利な知識

- ・ コントロール円は直径 6mm。1:4000 なら現地で 24m。
- ・ レッグ線は、コントロール円の中心同士を繋ぐ。
- ・ 実寸表記でない特徴物のコントロール円は、位置説明の G 欄でその周囲が指定されていても、その記号の中心（線上）に置かれる。
- ・ フラッグの 1 辺は 30cm。
- ・ 0.5mm の読み取り精度を求められるので、現地では 2m ずれている場合に Z になる。ただしフラッグの位置が位置説明と違っていた場合はそれ未満でも Z となる場合がある。

■典型的な課題

1. 特徴物の判別

岩などの特徴物が地図上で密集していて、そのうちの 1 つ、またはその付近にコントロールが設定された場合、地図と現地との特徴物の対応付けが取っ掛かりになります。地図に表記する基準を満たしていない特徴物に惑わされないようにしましょう。

2. 方位判別

1 つの特徴物に複数のフラッグが設置されることがよくあります。特にその特徴物が岩・人工特徴物・独立樹などの点状特徴物だった場合、G 欄の方位で判別する必要があります。特徴物とフラッグを結ぶ線の延長上に立ち、コンパスを見て、方角を調べるのが確実です。

3. ～と～の間

2 つの特徴物の間にフラッグが置かれた際に正解フラッグとどる条件は、「フラッグが 2 つの特徴物の端と端を最短で結ぶ線分上にある、かつフラッグがその線分上の中間点にある」です。2 つの特徴物を結ぶ線の延長線上に立つことと、歩測をすることで判別ができます。

4. 線状特徴物での距離測定

コントロール円の中心位置を 0.5mm 単位で正確に読み取りましょう。道の分岐から何 mm 離れているか、フェンスの角から何 mm 離れているかなど。それらを現地の距離に換算し、歩測やフラッグの幅を使って判別します。

5. 等高線を見る課題

周囲の藪や岩などの特徴物と比較することにより、等高線の位置を推測することができます。道からの距離も重要な手がかりとなります。

6. 一見手がかりのない課題

脈絡なく置かれたように見えるフラッグでも、地図上で見ると何かの延長線上であったり、何かと何かの間であったりします。頑張って手がかりを見つけ出してください。

■参考資料

日本オリエンテーリング協会

「日本トレイルオリエンテーリング競技規則」

http://www.orienteering.or.jp/archive/rule/japan_trailorienteering_rule_2012.pdf

日本オリエンテーリング協会地図委員会

「コントロールに関する規則」

http://www.orienteering.or.jp/archive/rule/JSCD2008_130112.pdf

【このページは東大 OLK 会報を参考に作成しました】